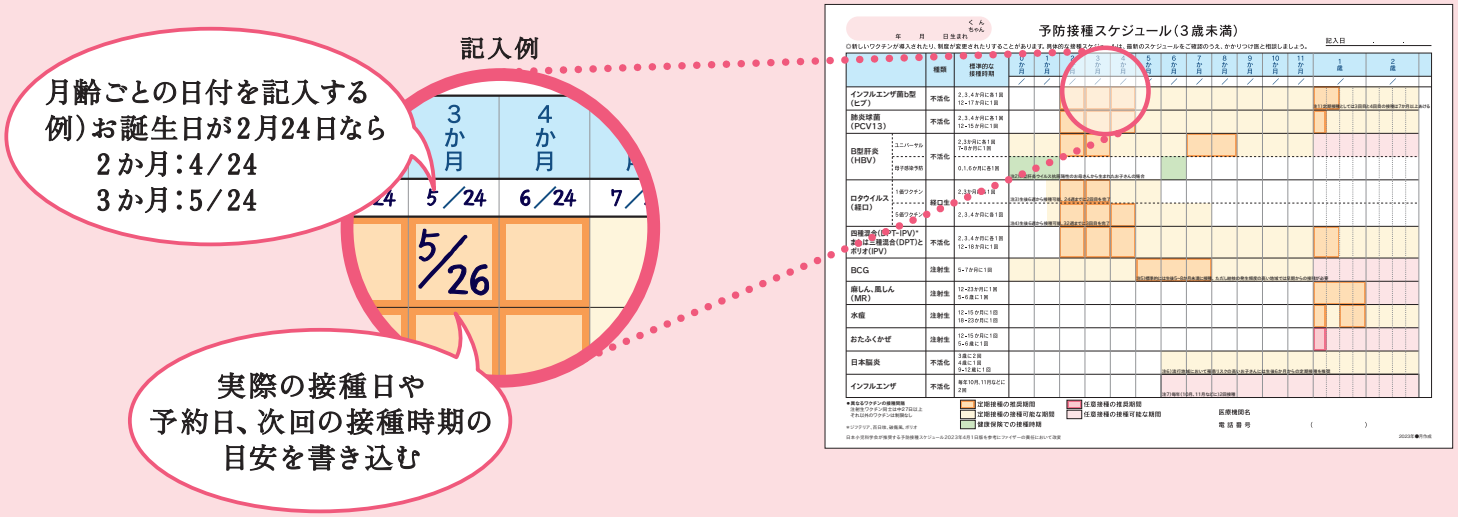
3歳未満の予防接種スケジュールシート

監修：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学教室 教授　齋藤 昭彦 先生

ご活用方法

◎本シートは、両面で構成されています。
　表面：記入用予防接種スケジュール（3歳未満）　　裏面：ワクチンで予防できる子どもの病気一覧

◎一人ひとりのお子さんにあわせてスケジュール（接種の予約や目安となる日付）を書き込めます。



◎新しいワクチンが導入されたり制度が変更される場合があります。
　具体的な接種日に関しましては、最新のスケジュールをご確認いただき、
　地域の状況やお子さんの接種状況などに応じてスケジュールを立ててください。

◎本スケジュールシートは日本小児科学会予防接種スケジュール2023年4月1日版
　（https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20230407_vaccine_schedule.pdf）を参考にファイザーの責任において改変しております。

◎1枚ずつ切り離して、保護者の方にお渡しください。

年　　月　　日生まれ　くん／ちゃん

予防接種スケジュール（3歳未満）

記入日　　.　　.

◎新しいワクチンが導入されたり、制度が変更されたりすることがあります。具体的な接種スケジュールは、最新のスケジュールをご確認のうえ、かかりつけ医と相談しましょう。

		種類	標準的な接種時期	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳
				／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
インフルエンザ菌b型（ヒブ）		不活化	2,3,4か月に各1回 12-17か月に1回													注1）定期接種としては3回目と4回目の接種は7か月以上あける	
肺炎球菌（PCV13）		不活化	2,3,4か月に各1回 12-15か月に1回														
B型肝炎（HBV）	ユニバーサル	不活化	2,3か月に各1回 7-8か月に1回														
	母子感染予防		0,1,6か月に各1回	注2）B型肝炎ウイルス抗原陽性のお母さんから生まれたお子さんの場合													
ロタウイルス（経口）	1価ワクチン	経口生	2,3か月に各1回	注3）生後6週から接種可能。24週までに2回目を完了													
	5価ワクチン		2,3,4か月に各1回	注4）生後6週から接種可能。32週までに3回目を完了													
四種混合（DPT-IPV）*または三種混合（DPT）とポリオ（IPV）		不活化	2,3,4か月に各1回 12-18か月に1回														
BCG		注射生	5-7か月に1回						注5）標準的には生後5~8か月未満に接種。ただし結核の発生頻度の高い地域では早期からの接種が必要								
麻しん、風しん（MR）		注射生	12-23か月に1回 5-6歳に1回														
水痘		注射生	12-15か月に1回 18-23か月に1回														
おたふくかぜ		注射生	12-15か月に1回 5-6歳に1回														
日本脳炎		不活化	3歳に2回 4歳に1回 9-12歳に1回							注6）流行地域において罹患リスクの高いお子さんには生後6か月からの定期接種を推奨							
インフルエンザ		不活化	毎年10月、11月などに 2回							注7）毎年（10月、11月などに）2回接種							

●異なるワクチンの接種間隔
注射生ワクチン同士は中27日以上
それ以外のワクチンは制限なし

＊ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ

定期接種の推奨期間
定期接種の接種可能な期間
健康保険での接種時期
任意接種の推奨期間
任意接種の接種可能な期間

医療機関名

電話番号　　（　　）

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール2023年4月1日版を参考にファイザーの責任において改変

2023年5月作成

ワクチンで予防できる子どもの病気

ヒブワクチン

【Hib（インフルエンザ菌b型）感染症】

インフルエンザ菌b型という細菌（※インフルエンザウイルスとはまったく別のもの）による病気で、細菌性髄膜炎や喉頭蓋炎、肺炎などを起こします。5歳までにかかることの多い病気です。髄膜炎は早期診断が難しいため重症化しやすく、重い後遺症を残したり、死亡する例もあります。[1,2]

小児用肺炎球菌ワクチン

【肺炎球菌感染症】

肺炎球菌による病気で、菌血症、肺炎、脳を包む髄膜が炎症を起こす細菌性髄膜炎などを起こします。髄膜炎は早期診断が難しいため重症になりやすく、重い後遺症を残したり死亡する例もあります。菌血症は髄膜炎の前段階であることが多いです。[1]

B型肝炎ワクチン

【B型肝炎】

B型肝炎ウイルスに感染しているお母さんから分娩時に感染するだけでなく、感染している父親や兄弟姉妹など周囲の人からも感染することがあります。子どもの場合は原因不明の場合もあります。肝炎になり、慢性化すると肝硬変や肝臓がんの原因になることがあります。[1,3]

ロタウイルスワクチン

【ロタウイルス胃腸炎】

乳幼児がかかりやすい病気で、感染力が強く、嘔吐と下痢を繰り返すと脱水症になることがあります。けいれんや脳症を合併することもあります。[1,4]

四種混合（DPT-IPV）または三種混合（DPT）とポリオ（IPV）

【ジフテリア】

ジフテリア菌がのどに炎症を起こす病気です。犬の遠吠えのようなせきが特徴で、重症になると呼吸困難や神経麻痺、心筋炎を起こし、死亡することもあります。[1,5]

【百日せき】

連続したせきが長く続き、急に息を吸い込むので笛を吹くような音をともなう呼吸困難、チアノーゼ、けいれん等が起こる病気です。乳児では無呼吸状態になることがあります。肺炎、脳症を併発することがあります。[1,4]

【破傷風】

土の中にいる破傷風菌が傷口から体に侵入し、菌の毒素でけいれんを起こす病気です。顔の筋肉が硬直して引きつったような表情になり、口が開きにくくなることが特徴です。重症になると強いけいれんで呼吸ができなくなることもあります。[1,4]

【ポリオ】

小児麻痺とも呼ばれます。かかっても無症状か、かぜに似た症状だけですむ場合がほとんどですが、症状がでる場合は熱が下がった後に片側の手足に弛緩性麻痺を生じ、後遺症を残すことがあります。[1,4]

BCGワクチン

【結核】

せきやたん、微熱などが長く続く病気で、体重減少や食欲不振、寝汗をかくこともあります。子どもの場合、症状があらわれにくく、重篤な結核につながることがあります。赤ちゃんの場合は、粟粒結核や髄膜炎など重症になりやすく、後遺症が残ったり、死亡することもあります。[1,2]

麻しん・風しん混合（MR）ワクチン

【麻しん（はしか）】

熱、鼻水、せきなどの症状ではじまり、熱はいったん下がった後、再び上がります。特有の赤い発疹が顔から全身へ広がります。子どもでは重い病気で、かかると肺炎や中耳炎、脳炎を合併することもあり、死亡する例もあります。[1]

【風しん（三日ばしか）】

発熱、赤い発疹、首のリンパ節のはれの3症状が特徴の病気です。熱がでないことも多く、ふつうは3日程度で治ります。重症になると脳炎や血小板減少性紫斑病になることもあります。[1,6]

水痘ワクチン

【水痘（みずぼうそう）】

強いかゆみのある赤い水疱をともなった発疹が全身にできる病気です。発疹は水ぶくれ、かさぶたへと変化します。脳炎や肺炎、皮膚の細菌感染症などを合併することもあります。[1,4,7]

おたふくかぜワクチン

【おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）】

発熱とともに片方または両方の唾液腺（※耳の下からあごにかけての部分）、特に耳下腺がはれる病気です。ふつう1～2週間で治りますが、無菌性髄膜炎や脳炎を合併することもあります。治らない難聴になることもあります。[1,4]

日本脳炎ワクチン

【日本脳炎】

感染したブタから蚊がウイルスを運びヒトを刺し感染させ、脳炎を起こす病気です。ヒトからヒトへはうつりません。かかっても多くは無症状ですが、脳炎になると高熱、けいれん、意識障害がでます。いったんかかると治療法がなく、死亡や重い後遺症の危険性があります。[1,4]

インフルエンザワクチン

【インフルエンザ】

悪寒や発熱、頭痛、関節痛などの全身症状がみられる病気です。中耳炎、肺炎を合併することもあります。脳症を起こすと後遺症を残したり、死亡することもあります。[4,8]

監修：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学教室 教授 齋藤 昭彦 先生

1) 日本小児科学会：日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」各論No.10-19, 22 2018年3月-2020年10月作成・改訂 http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/VIS_10_22_kakuron202010.pdf 2023年4月24日参照
2) 厚生労働省：予防接種情報 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html 2023年4月24日参照
3) 国立感染症研究所：国内における小児の原因不明の急性肝炎について （第3報）2023年2月16日時点の事例報告集計 https://www.niid.go.jp/niid/ja/jissekijpn/11902-3-2023-2-16.html 2023年4月24日参照
4) 国立感染症研究所：予防接種情報 https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j.html 2023年4月24日参照
5) 厚生労働省 関西空港検疫所：疾患別解説 ジフテリア https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis03_05dip.html 2023年4月24日参照
6) 国立感染症研究所 感染症情報センター：風疹とは http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/160409-2pdf.pdf 2023年4月24日参照
7) 国立感染症研究所 感染症情報センター：IASR Vol.25 p 322-324 http://idsc.nih.go.jp/iasr/25/298/dj2982.html 2023年4月24日参照
8) 日本臨床内科医会：わかりやすい病気のはなしシリーズ33「インフルエンザ」 https://www.japha.jp/doc/byoki/033.pdf 2023年4月24日参照